

受給者証裏面の記入方法について

(五)

障害児通所支援事業者記入欄			
1	事業者名及びその事業所の名称		
	契約日		
	支援の内容		
	契約支給量(/月)		
	事業者確認印		
	当該契約支給量による支援終了日		
2	事業者名及びその事業所の名称		
	契約日		
	支援の内容		
	契約支給量(/月)		
	事業者確認印		
	当該契約支給量による支援終了日		

(六)

障害児通所支援事業者記入欄			
3	事業者名及びその事業所の名称		
	契約日		
	支援の内容		
	契約支給量(/月)		
	事業者確認印		
	当該契約支給量による支援終了日		
4	事業者名及びその事業所の名称		
	契約日		
	支援の内容		
	契約支給量(/月)		
	事業者確認印		
	当該契約支給量による支援終了日		

受給者証裏面上部のここを拡大して説明しています。

障害児通所支援事業者記入欄			
1	事業所名及びその事業所の名称	横浜いろは	
	契約日	R5.4.1	
	支援の内容	放課後等デイ	放課後等デイ
	契約支給量(/月)	10	8
	事業者確認印	横浜いろは	横浜いろは
	当該契約支給量による支援終了日	R5.10.31	
	支援の内容	放課後等デイ	
	当該支援終了月中の終了日までの既提供量	9	
事業者確認印	横浜いろは		

事業所との最初の契約日

契約支給量の考え方は、下記参照

※契約支給量について

契約支給量は、契約書で交わしている支給量を記入します。(例：月・水の週2利用の場合、契約支給量10。毎週月・水＋隔週土曜日利用の場合、契約支給量は12。など)

複数事業所を利用している利用者の場合、他事業所と足すと、契約支給量が受給者証の支給量をオーバーすることがありますが、契約支給量がオーバーすることは構いません。

ただし、その場合、実際に利用している日数の合計が支給量を超えないようにご注意ください。

例) A事業所を毎週月・火、B事業所を毎週木・金に利用する横浜太郎さんの場合

支給量：19

A事業所契約支給量：10

B事業所契約支給量：10



A事業所とB事業所の契約支給量を足すと、「20」になりますが、両事業所とも契約支給量「10」と記載して構いません。
※両事業所を足して、「20」という支給量の受給者証は発行できません。